

高・大・一般 漢字(楷書A)

※楷書A、Bは段級をとわず両方出品も可。

加藤 東陽

孔子廟堂碑(虞世南) ④



※落款(署名)には「東陽臨」と記しています。「東陽(雅号)」が臨書した、という意味になります。

天街黄道(之側)



落款の記し方

- ・臨書の場合は「○○臨」とします。
- ・他者の作った文・文章で、漢字のみの場合は「○○書」とします。
- ・自分の作った文・文章の場合は、「書」を省くことが多いです。
- ・右の「○○」には、自分の名(太郎・花子など)や雅号(東陽・清泉など)を記し、姓(鈴木・田中など)にはしません。

〈今月のワンポイント〉

今月は、虞法のまともとして四字句をとりあげました。勁さを内に秘めた温雅な味わいに富んだ虞法の特徴をしっかりと意識して書いてください。

※天街は都の中心となる大街。黄道は天子の通る道。都の中心をいう。

〈学習上の留意点〉

「天」：文字の外形(Ⅱ概形)は、ほぼ三角形。最終画の波法(右払い)はのびやかに。また、四画目は、第二画と第三画の交叉点を避けて、少し下から入筆するように書きます。「街」：縦三つの部分から成る文字。中央の圭の位置に注意し、下部を相当あけて、ゆったりした余白をとりながら、安定を図ります。「黄」：向勢で、左右相称の形。特に由の外形のふくらみに留意しましょう。「道」：首の三画目とこの最終画を長く出してバランスをうまくとっています。これは、第一画目の点より第二画目を左へ出さぬよう、斜め右下に書きおろして、第三画目の払いに移ります。特に、最終画の波法は虞法独特ののびやかさを示しています。



